

## 泉公民館

### ★ 泉公民館オススメ講座 ★

## 幅広い世代をつなげる『三世代交流』



地域の子どもからお年寄りまで幅広い世代の「つながりづくり」と、「子どもの体験充実」に向けて、『三世代交流』を行っています。コロナ禍のため実施できなかったものもありますが、なんとか形を変えて実施できるよう工夫したいと考えています。年3回の『三世代交流』は、公民館運営委員を中心に、愛育委員や栄養委員、老人クラブ等の関係団体と連携した講座となっています。

### ①「飯盒炊さん」(8月)

飯盒炊さんでは、食材等の下準備は愛育委員と栄養委員、飯盒炊さん場づくりは運営委員と老人クラブで行っています。地域の方々、各家庭や子どもたち等の参加者は、飯盒でのご飯炊きをしたり、会場での催しに参加したりしています。

### ②「ミニ運動会」(10月)

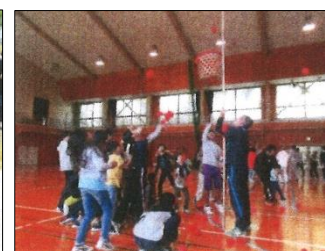
ラジオ体操、縄ない競争、おやつ取り競争、グランドゴルフ・輪投げ、玉入れ、奥津町音頭と、幼児からお年寄りまで各世代が楽しめるよう内容を見直して実施されています。世代間で得意種目が異なるところもあって盛り上がっています。

### ③「しめ縄飾りづくり・餅つき大会」(12月)

子どもたちへの文化の継承として実施しています。しめ縄飾りづくりは老人クラブや地域住民が講師を務め、餅つきは愛育委員と栄養委員が下準備に関わるようにしています。コロナ禍での実施は、子どものいる家庭優先で、希望者に、作り方のポイントを示した資料とともに「しめ縄飾りセット」を配布する形で行っています。



飯盒炊さんでの火の番



三世代での玉入れ



息を合わせてお餅つき



配付用しめ縄飾りセット

## 泉公民館リニューアル・3小学校統合をきっかけに

令和元年度に着任し、館長として4年目を迎えています。

泉公民館の「子どもに関する公民館主催講座」は、コロナ禍で思うような活動が難しい中、多くの方の力を借りながら“つながりづくり”と“体験充実”を意識して行っています。

奥津・富・上齋原の小学校統合と、令和5年度からの奥津小学校CS立ち上げ、そして、泉公民館の建替完了をきっかけに、これまで以上に、学校との結びつき、地域との結びつきを大切にしていきたいと思えます。幅広い地域・世代の住民が、気軽に立ち寄ることができ、新しい発見や学びが得られる拠点として、“みんなの居場所”となる公民館を目指します。



泉公民館 館長 池田 弘子 さん

### 「地域と学校の連携・協働」一層の充実に向けて

## 保育園・小学校・公民館のつながりを活かして

泉公民館は、奥津小学校の向かいに位置し、所管するエリアには、奥津保育園と奥津小学校があります。学校・園との連携・協働は、奥津小学校区内にある久泉、羽出、奥津、上齋原地区の4公民館で連携し、情報交換の場として「保小公連絡会議」を行っています。年3回、定期的に行われる本会議は、校長、園長、館長の計6名が集います。年度初めに共有した年間計画等をもとに、学校・園の行事やそれぞれの公民館の講座に向け、**双方向の情報共有**を行い、具体的な内容や人員等について、地域バランスも考慮しながら協議しています。**地域資源と人材の活用・活躍の機会を確保**し、学校・園の計画に応じた子どもたちの体験活動の充実と地域の方々とのつながりづくりを進めています。



さつまいも植え(保育園)



稲刈り(農業体験交流)



昔遊び交流会(4館合同)



ビリヤードクラブ(クラブ活動)

奥津小学校は、令和5年度より、富・上齋原小学校と統合し、CS(コミュニティ・スクール)としてスタートする予定です。学区が広くなると同時に、関わる地域住民も幅広いものになります。学校運営協議会での**地域と学校の情報共有(熟議)の場**で、学校・園、家庭、地域、それぞれの**思いや願いを共有**し、**新たなつながりづくり**も意識しながら、**地域学校協働活動への反映と充実**につなげていってほしいと願っています。今ある組織または活動を活かし、これまで以上に学びの場が広がっていくことが期待されます。

## 自慢の人材紹介コーナー 子どもたちの体験的な学び充実に向けて

森安さんは、奥津小学校の「農業体験交流」を中心に、学校ボランティアとして、子どもたちの体験的な学びに関わられています。「農業体験交流」は、年3回、「田植え」「稲刈り」「もちつき」が行われていますが、限られた時間でも充実した活動となるよう心がけておられます。例えば、「稲刈り」では、**地域の方々**が持たれている昔の道具を活用することです。今と昔の農作業を両方を体験することで、子どもたちが、**地域の人や農業そのものを身近に感じ、携わる人々の苦勞や知恵を知ることができる**と考えられました。最初こそ、おっかなびっくりな様子の子もたちでしたが、次第に、「もっとやってみたい!」と挑戦する姿が見えるようになり、改めて、ボランティアとしての喜びとやりがいを感じられたそうです。

R5年度からは、新たに地域学校協働活動推進員として、地域と学校・園に関わる立場となります。奥津地区に加え、富・上齋原地区の地域づくりの核としてのご活躍を楽しみにしています。



森安 信介 さん  
学校ボランティア  
兼 泉公民館運営委員長  
兼 地域学校協働活動推進員  
(R5委嘱予定)